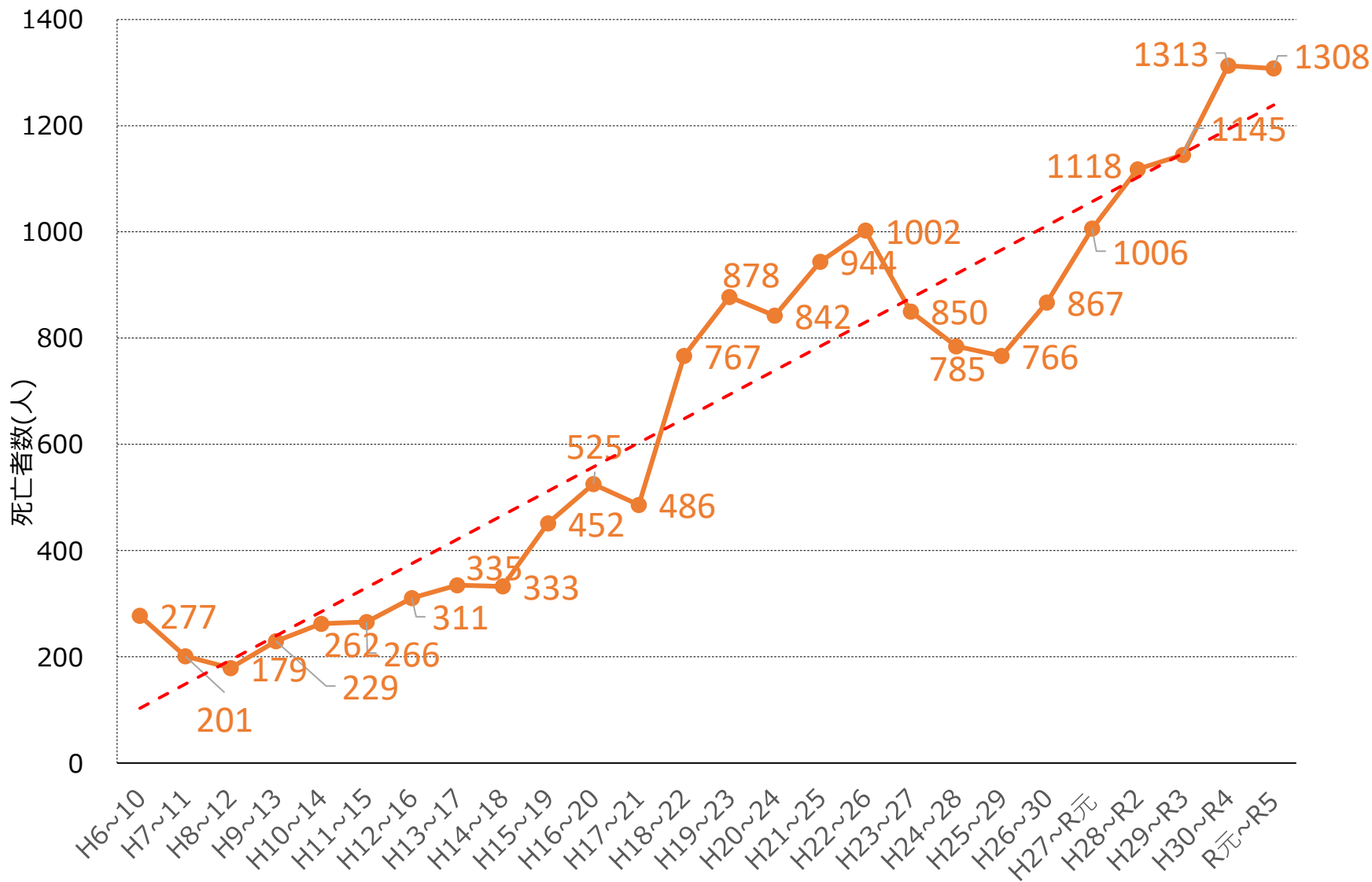


熱中症死亡者（5年移動平均）の推移

資料2-3

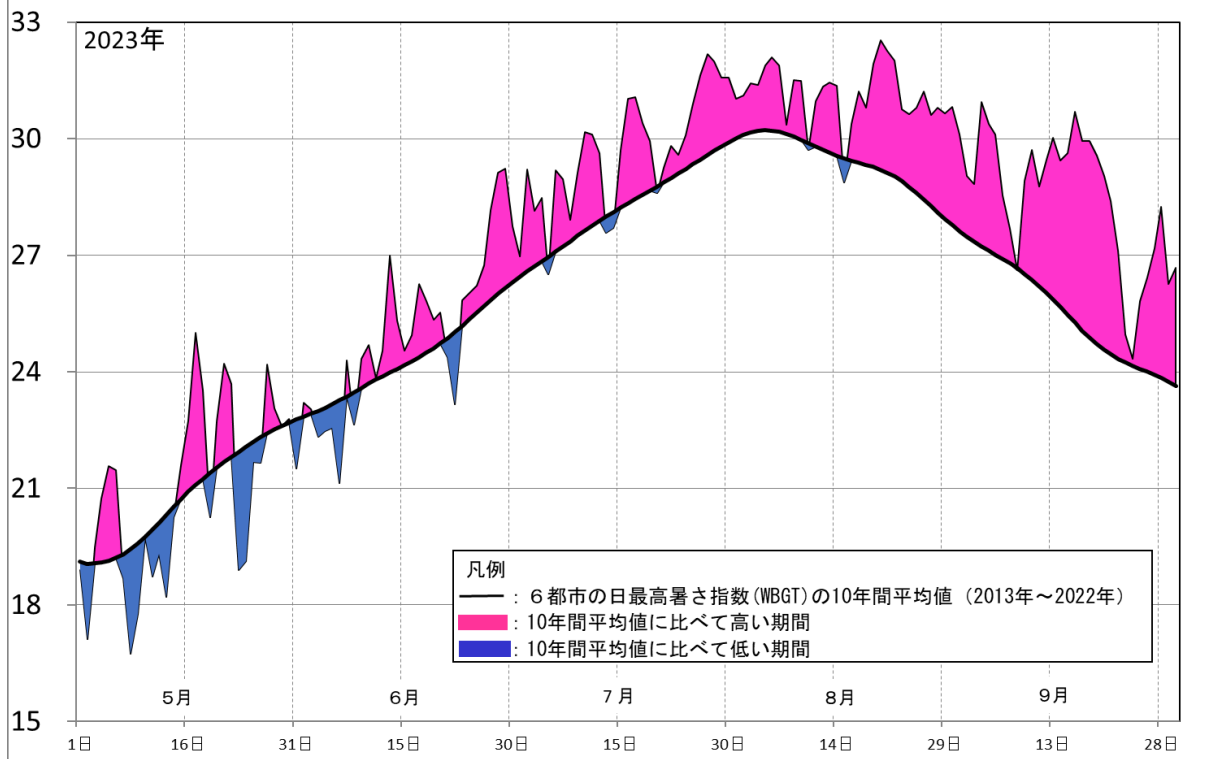


H：平成 R：令和

出典：人口動態統計より環境省作成
(令和5年は概数)

令和5年夏の状況

6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値



(2023年9月30日まで)

熱中症警戒アラート発表回数(全国延べ回数)

	令和5年 (4/26~10/25)	令和4年度 (4/27~10/26)	令和3年度 (4/28~10/27)
合計(回)	1,232	889	613

①国民（一般の方）向け

期間：2023年11月20日（月）～11月22日（水）

対象（＝回答数）：47都道府県×各200名＝9,400名

方法：調査会社を通じたWEBアンケート

※200名の内訳（我が国の人口構成を考慮）

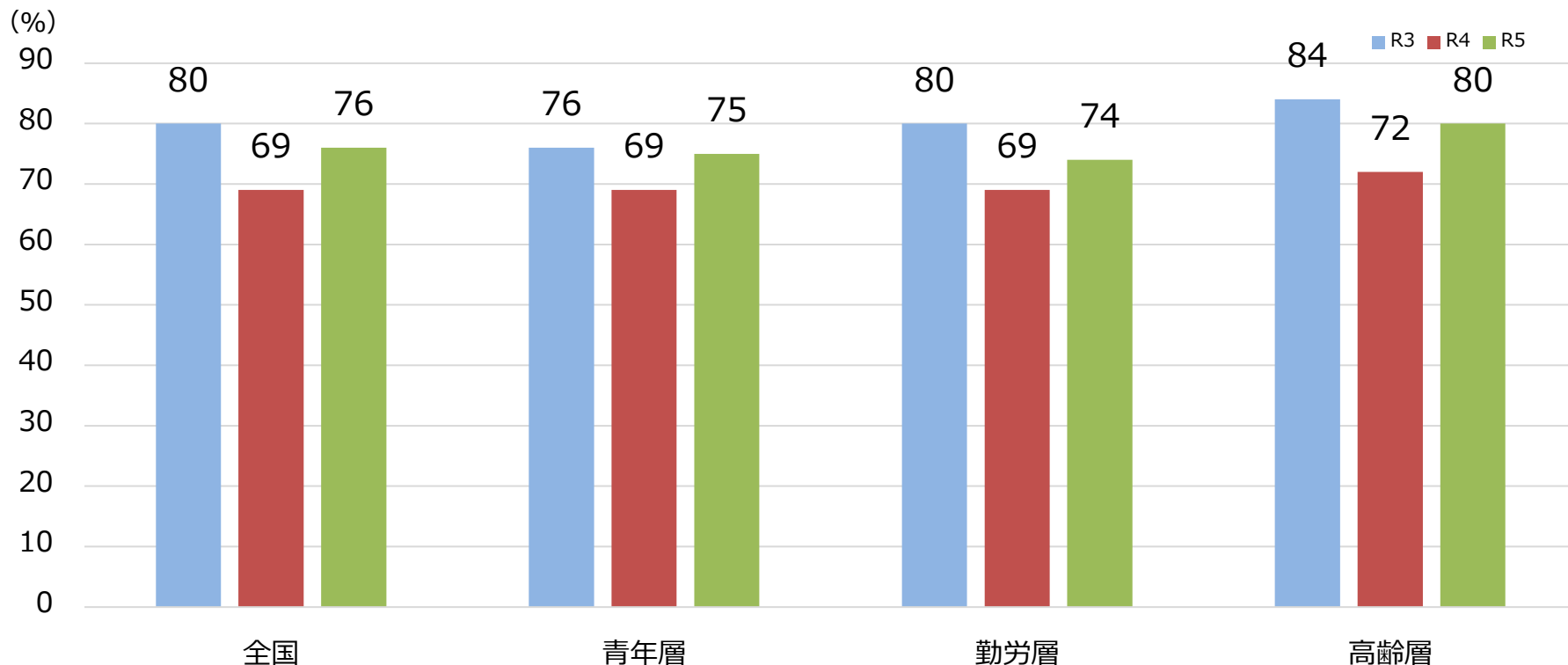
青年層（18～22歳）	20名
勤労層（23～64歳）	120名
高齢層（65～89歳）	60名

熱中症対策について		暑さ指数（WBGT）等について	
1	暑さ情報の入手先	11	暑さ指数の認知
2	参考にする情報	12	暑熱順化の認知
3	熱中症について普段心がけていること	13-15	アラート発表等による行動変容
4	予防行動を強化する情報提供方法	16	暑さ指数（WBGT）の活用について
5	お住まい地域のクーリングシェルター※等	顕著な高温について	
熱中症警戒アラートについて		17	カナダ等で起きた顕著な高温
6	アラートの認知	18	顕著な高温が日本で起こる可能性
7	アラートの入手先	19	極端な高温時のエアコンの使用
8	アラートを確認した時間帯	20	自治体が行うべきと考える対策
9-1,9-2	アラート発表による意識変容	21	クールシェルター※等の必要性
10	アラート発表に含まれる呼び掛ける行動の認知		

Q6 熱中症の危険性が極めて高くなると予測された際に「熱中症警戒アラート」が発表されますが、「熱中症警戒アラート」をご存知ですか。

- 熱中症警戒アラートの認知度は、全年齢層では約8割（令和4年度は約7割）で、昨年度と同様に高齢層での認知度がやや高い傾向にあった。

熱中症警戒アラートを「知っている」と回答した方の割合



R5 : n=9,400
R4 : n=9,400
R3 : n=9,400

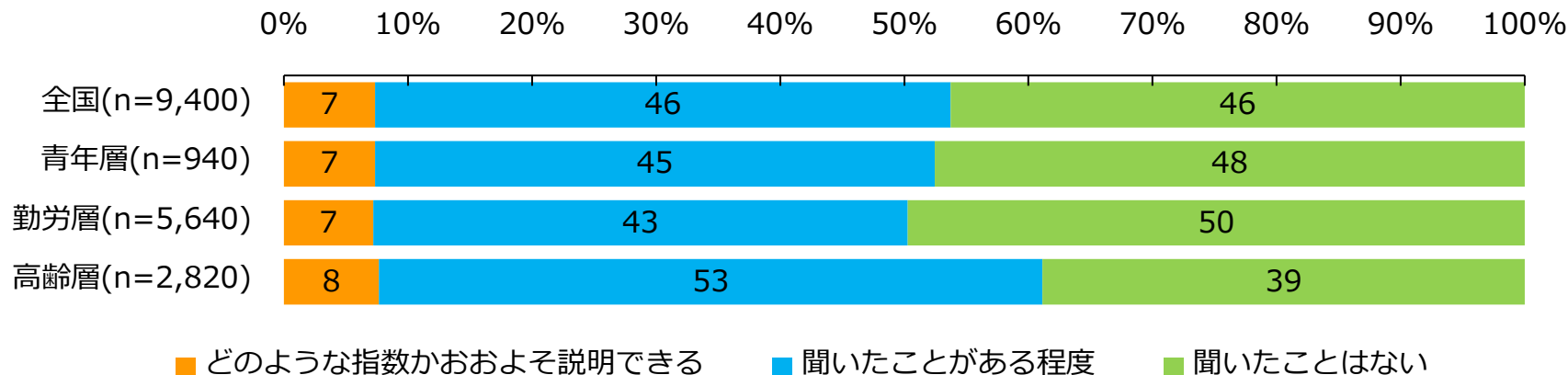
R5 : n=940
R4 : n=940
R3 : n=930

R5 : n=5,640
R4 : n=5,640
R3 : n=5,638

R5 : n=2,820
R4 : n=2,820
R3 : n=2,818

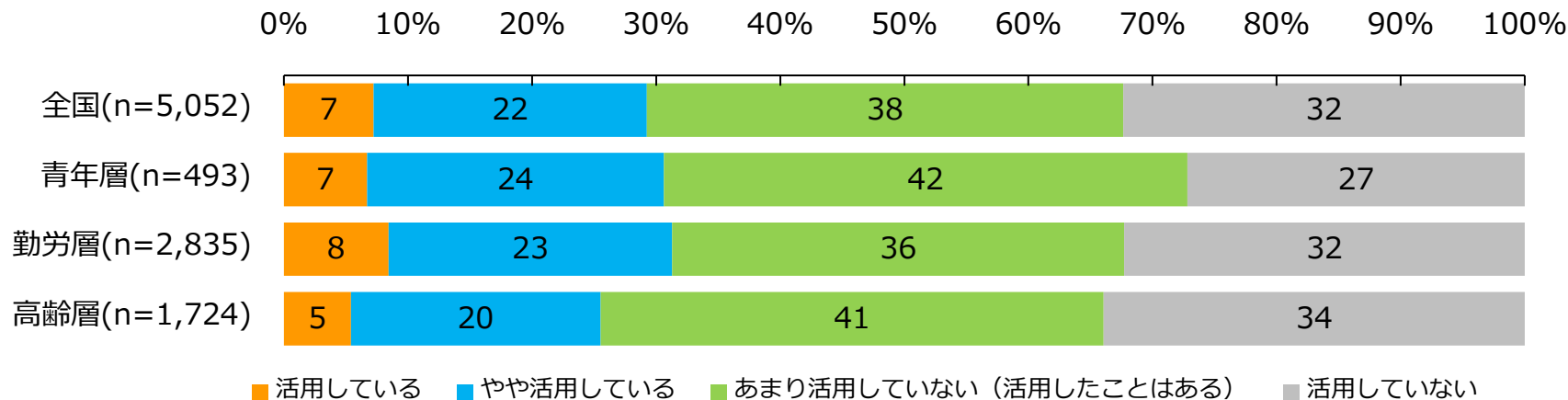
Q11 あなたは、「暑さ指数（WBGT）」を知っていますか。

○ **暑さ指数（WBGT）** の認知度は、全年齢層では約 5 割で、高齢層での認知度がやや高い傾向にあった。



Q16 あなたは、熱中症の危険性を感じる場合に「暑さ指数（WBGT）」を活用していますか。

○ Q11の中で暑さ指数（WBGT）を認知している人のうち暑さ指数（WBGT）を活用している割合は、全年齢層で約 3 割であった。



Q15 あなたは、「熱中症警戒アラート」が発表されたことで、追加的にどのような対応をとりましたか。

- 全年齢層では、「こまめな水分補給に努めた（54%）」や「エアコンを使用した（49%）」の割合が高かった。
- 全年齢層では、「リーフレットの予防行動をとった（3%）」や「友人等に情報共有した（4%）」の割合が低かった。
- 特に高齢層では、「こまめな水分補給に努めた（63%）」、「エアコンを使用した（57%）」や「外出・屋外活動を控えた（45%）」を追加的な対応として行っている割合が高かった。

